東広島市社協だより
Social Welfare in Higashihiroshima

ふれあい

東広島市社協イメージキャラクター こころん
第185号
平成26年9月1日

“笑顔の花”咲くプレゼント!!

子ども達が一緒に訪問してくれて最高の笑顔がみられました!!

▲花を見ていると気持ちが明るくなるね～

【特集】「そよかぜねっと」活動紹介
～市内各地のあったかエピソードお届けします～

（関連記事4～5ﾍﾟｰｼﾞ）

…もくじ…

- 安芸津町「風早地区社会福祉協議会」新規設立! … 2ﾍﾟｰｼﾞ
- 三ツ城自治協議会西条中央支部「三ツ城ふれあい・いきいきサロン」誕生！…… 2ﾍﾟｰｼﾞ
- 地域を元気にする「赤い羽根共同募金」………… 3ﾍﾟｰｼﾞ
- 新連載「民児協だより」－高屋地区－ ………… 3ﾍﾟｰｼﾞ
- 特集「そよかぜねっと」活動紹介 ………… 4～5ﾍﾟｰｼﾞ
- 平成25年度事業報告・決算報告 ………………… 6ﾍﾟｰｼﾞ
- 連載シリーズ「教えて社協さん」第3回　車いすの貸し出しについて …………… 7ﾍﾟｰｼﾞ
- 寄付のご報告(平成26年5月～平成26年7月)… 7ﾍﾟｰｼﾞ
- お知らせコーナー ………………………………… 8ﾍﾟｰｼﾞ

東西条地区住民自治協議会福祉部会
子ども民生委員体験活動

小学生が「子ども民生委員」として、民生委員児童委員さんと一緒に、同じ地域の一人暮らしのお年寄りを訪問しています。松賀中学校の協力により、栽培部で心を込めて種から育ててもらった花をプレゼントとして持っていきます。

「可愛い顔を見て元気が出たよ」「おばあさんが喜んでくれて嬉しかったよ」。お年寄りと子ども達にとって、心温まる交流となりました。

この活動は、小学生が「助け合いの大切さ」や「思いやりの心」を肌身で感じ、将来、地域や人を大切にする優しい大人に育ってほしいという願いから生まれました。

子ども達とこの活動の今後の成長が楽しみです。

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。

SOYOKAZE

地区社会福祉協議会　新規設立

みんなでつくる 福祉の町『風早』いよいよ活動開始!!

6月14日、安芸津町風早地区に『風早地区社会福祉協議会』が発足しました。

きっかけは、住民自治協議会を中心に取り組まれている「災害時要援護者避難支援プラン」の策定でした。風早自治協で協議が進むにつれ“災害時の迅速な対応には、日常的な声かけ、見守り活動が地域に定着していることが大切”という結論となり、具体的な活動を推進するため、地区社協が新規に設立されました。

風早地区では「風早自治協福祉部＝風早地区社協」という組織体制を組み「自治協福祉部の地域福祉活動をより推進」するため“今、地区社協”が発足したのです。

自治協の活動が充実してきた今だからこそ、地区社協活動の意義・目的を改めて考えることで“誰もが住み慣れた地域で暮らし続けていくためのヒント”を発見できるチャンスになるのではないでしょうか。

▲風早自治協・風早地区社協メンバー

▲風早地区社協設立総会の様子（写真右　上川地区社協会長）

三ツ城自治協議会西条中央支部

「三ツ城ふれあい・いきいきサロン」誕生！

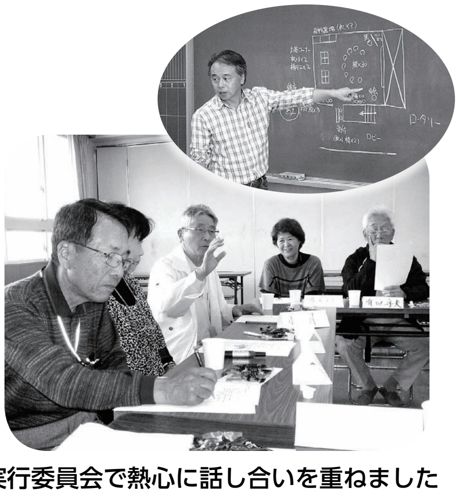
このサロンは、一人の新任民生委員児童委員さんの一言が始まりでした。「地域で一人暮らしの高齢者の行き場がないようだ」。この相談を受けた主任児童委員さんとベテラン民生委員児童委員さんも、長年同じ悩みを持っていました。三ツ城地域は東広島市の中でも1・2を争う住宅街で、昔ながらの繋がりが少ない地域です。

「地域のみんなでサロンを作ろう!」。思い立った民生委員児童委員さん達は、三ツ城自治協議会に相談。そして、今年の3月末に、地域担当の民生委員児童委員と住民自治協議会の健康・生涯・福祉部会で実行委員会を立ち上げ、月1回ペースで委員会を開催しました。一番の課題であったサロン会場は、敬老会の会場でもある商工会議所会館に決定しました。

そして、迎えた当日。18人の世話人が「何人来てくれるかね？」と不安を抱えながら準備を進めます。ぽつぽつと、会場に人が集まり始めました。「よ～来てくれたね！ありがとう」歓喜の声が、会場のあちらこちらから聞こえます。世話人の予想を上回り、20名も集まってくれました。

そして、サロンスタート！茶話会の後は、元社協職員「はつらつガールズ」による介護予防体操です。和気あいあいとみんなで楽しく体操しました。そして最後は「故郷」を合唱しました。

サロン立ち上げに、子どもから高齢者まで様々な世代の人が関わり、「地域の高齢者は地域で支える」という共通の思いが“カタチ”となり、サロン活動を通した交流の輪が広がっています。



▲実行委員会で熱心に話し合いを重ねました

▲７月５日　記念すべき第１回目のサロン

▲手作り小物のプレゼント

～あなたの優しさに支えられて～

地域を元気にする「赤い羽根共同募金」

▲昨年の街頭募金活動の様子

毎年、全国一斉に10月1日～12月31日の期間で、赤い羽根共同募金運動が実施されます。集められた募金は、広島県内の社会福祉団体の活動支援、災害等準備金や東広島市内の地域の安心・安全のまちづくり支援、ボランティア団体等が行う福祉活動の支援、東広島市社協が行う地域福祉を推進するための事業などに活用されています。

募金の約30％はあなたのお住まいの市区町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。（例：大規模災害時に災害等準備金を活用）

募金の約70％はあなたの町を良くするために使われています。

東広島市内の様々な活動に役立てられています

地区社協活動

▲一人暮らし高齢者を招いて食事会

地域サロン活動

▲高齢者と子ども達の世代間交流も

福祉体験学習

▲体験学習を通じて共感できる「心」の育成

4～5ページで特集

そよかぜねっと活動　社協だより「ふれあい」　被災者生活サポートボラネット　など

※来月は、赤い羽根共同募金特別号をお届けします。

共同募金に関する情報
（中央共同募金会ホームページ）

赤い羽根 検索 http://www.akaihane.or.jp

◎助成の対象は、都道府県によって異なります。くわしくはこちらから→

民児協だより
東広島市民生委員児童委員協議会

from 高屋地区

Jun 2014

第七回 高屋中学校二年生と地域の会食交流会

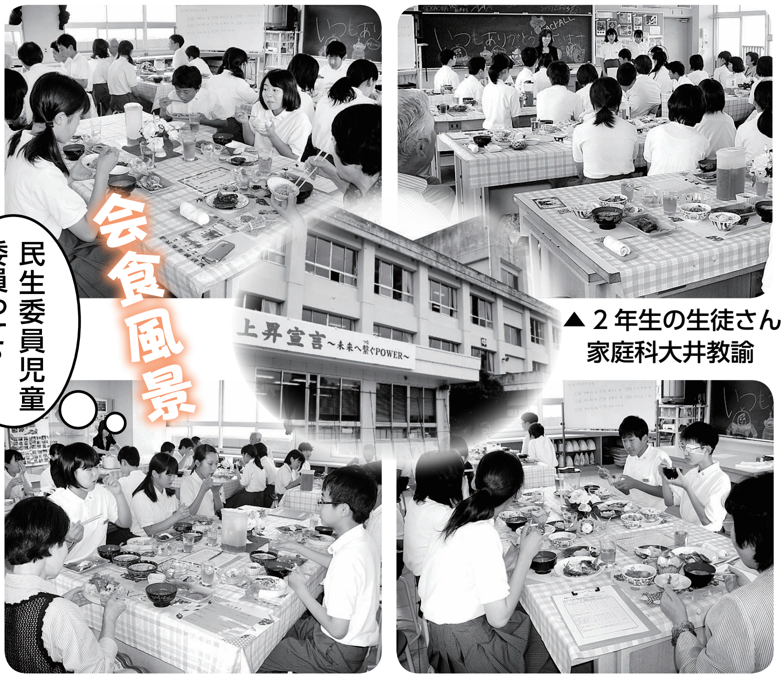
生徒の写真付きの招待状と電話によるお誘いを受けました。

当日案内された会場には、既に手作りの料理が並べられ、ワクワクしながら席に着きました。生徒たちの落ち着いた笑顔が眩しく感じました。学校生活がいかに安定しているかを物語っているようです。

味つけの良さは母親のよきアドバイスがあったのでしょう。微笑ましい親子の会話をも想像できます。

この会食交流会を通じて、家庭・学校・地域が程良く調和している姿に接することができたような気がしました。

主任児童委員　井上　泰秀



▲２年生の生徒さんと家庭科大井教諭

※今年度より「民児協だより」を、年２回（９月号・３月号）掲載します。